

伊勢志摩サミット三重県民会議によるサミット終了後の取組

1 伊勢志摩サミット終了後の取組

(1) サミット終了後の県民等へのメッセージ

サミット終了後に、県民をはじめ、様々なご支援・ご協力をいただいた幅広いステークホルダーの皆さんに対して、これまでのご支援やご協力に対する御礼と、サミット開催の受入・準備で培った数多くのレガシーを今後の三重県づくりに生かす「今後への呼びかけ・宣言」について、ポスター・新聞広告・県政だよりみえの3つの媒体を用いて、県内に発信しています。

○県民会議第5弾公式ポスター（平成28年5月30日に発表）

県民へのメッセージに加えて、県民の様々なサミットに向けた活動や県民会議の取組を表現する写真素材の活用を中心としたデザインで構成。

○新聞広告（平成28年5月28日に掲載）

読売・朝日・毎日・日本経済・産経・中日・伊勢新聞の東海版朝刊（全5段、モノクロ）に、県民等へのメッセージ、県民会議の取組やサミット当日の写真を掲載。

○県政だよりみえ増刊号（平成28年6月26日に発行予定（新聞折込））

タブロイド判2ページ（表/裏）に、県民へのメッセージや、県民会議の取組の写真等を掲載。

(2) IMCアネックスの公開

サミットの現場を、次世代を担う県内小・中・高等学校生をはじめ、県民の皆さまに肌で感じていただくため、サミット終了後の平成28年5月30日（月）から6月10日（金）まで、IMC仮設施設（以下、IMCアネックス）を部分的に公開しました。

○公開施設

IMCアネックス1階（政府広報展示スペース、三重情報館、ダイニングスペース）

IMCアネックス2階（ブリーフィングルーム）

○対象・公開期間

- ・県内小・中・高・特別支援学校の児童・生徒2,424名（引率者含む）
平成28年5月30日（月）～6月10日（金）（平日のみ）9:00～16:00
- ・子どもふるさとサミット参加者及び三重の高校生サミット参加者103名（保護者含む）
平成28年6月4日（土）9:00～14:00
- ・一般県民 1,040名
平成28年6月4日（土）13:00～16:00、5日（日）9:00～16:00

(3) 伊勢志摩サミット記念館（仮称）

サミットの足跡を後世に伝えるとともに、子どもたちに学習の機会を提供するため、サミットの様子や使用された調度品・県産材等の紹介を行う伊勢志摩サミット記念館（仮称）を設置します。

- 設置時期：サミット開催1年後（平成29年5月）まで
- 設置場所：近鉄賢島駅
- 運営主体：志摩市において運営及び運営にかかる費用を負担
- 展示内容：調度品・県産材の紹介の他、動画の活用等、動的な要素も盛り込む

(4) 大学生・留学生との交流事業

サミットの開催成果を確かな資産として「明日へつなぐ」ため、県外の大学生や留学生等が三重に集い、県内の大学生や留学生等とともに、サミットに関係するテーマ等について討議を行う大学生版のサミットを開催し、サミット開催地・三重県が次世代グローバル人材育成の地となることを目指します。

- 開催日：平成28年8月31日（水）～9月3日（土）
- 開催場所：伊勢市及び南伊勢町
- 取組内容：サミット関連テーマ等に関する討議・発表
討議に資する現場体験・学習 等
- 参加者：首都圏を中心とする県外の大学生、大学院生、留学生
県内の大学生、大学院生、留学生
- 参加人数（予定）：100人程度

(5) 国際理解・国際交流プログラム

サミット開催を契機に、次世代を担う子どもたちが、サミット参加国について理解を深めるとともに、国際的な視野や感覚を身に付けるきっかけとするため、平成27年度に引き続き「国際理解・国際交流プログラム」を実施します。平成28年度は、県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象とし、授業等にサミット参加国出身の在住外国人や留学生等、サミット参加国に詳しい方々を講師として派遣します。

- 実施予定期間：平成28年6月6日～9月30日（全30回）
学校別 小学校19回、中学校6回、高等学校1回、特別支援学校4回
地域別 北勢17回、中南勢7回、伊賀3回、伊勢志摩2回、東紀州1回

（注）平成28年4月14日（木）～5月11日（水）に募集し、56回分の応募がありました。

(6) 伊勢志摩サミット記録誌

サミットの記憶を後世に引き継ぐとともに、サミット後の県や市町の施策展開や民間企業等の取組に役立てるため、サミットの準備段階から開催までの経過、県民会議や県、市町の取組等を編さんし、記録誌として刊行します。

平成28年内をめどに発行し、サミットへのご支援、ご協力をいただいた方々や関係機関の方々へ配布する予定です。